



衛生だより

夏季休暇期間における衛生管理の強化について

新型コロナウイルス感染症の影響で抑制されていた人・モノの移動が回復しつつあり、訪日外客数の増加や、夏季休暇を迎え日本人観光客も多く渡航することが想定されます。

本年2月にシンガポールで初めてアフリカ豚熱の発生が、また、5月には、ワクチン接種国である韓国で4年ぶりとなる口蹄疫の発生が確認されるなど、アジア・ヨーロッパ各地で家畜の伝染病の発生がつづいており、日本への侵入のリスクは依然として高い状況です。

家畜伝染病の病原体侵入防止のため、防疫対策の徹底をお願いします。

伝染病の侵入・まん延を防ぐために

- ✓ 農場への部外者立入禁止
- ✓ 来場者の記録と保管
- ✓ 農場に出入りする車両の消毒
- ✓ 手指、長靴などの物品の洗浄、消毒（消毒後の再汚染防止）
 - ※ 消毒薬は適切な濃度で使用
 - ※ 踏込消毒槽は最低1日1回以上交換
- ✓ 畜舎専用の衣服及び長靴の着用
- ✓ 野生動物の侵入防止、ねずみ・害虫の駆除
- ✓ 防護柵・防鳥ネットの設置、畜舎壁・天井の破損の点検
- ✓ 毎日の健康観察、異常家畜を発見した場合の早期通報
- ✓ アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航自粛
- ✓ 肉製品など畜産物の持ち込み禁止
 - ※ 特に外国人技能実習生を受け入れている場合は注意！



～～～台風・大雨被害に備えましょう～～～

- ・発電機や排水ポンプ等の準備
- ・飼料や燃料の在庫は、1週間分以上の量を保有しておく
- ・飲用水の貯留タンク設置など
- ・被災時の対応、緊急連絡先を確認しておく



北部家畜保健衛生所 Tel.0478-54-1291 Fax.0478-54-5996

夜間・休日は転送されます、必ず5回以上コールしてください



口蹄疫の症状

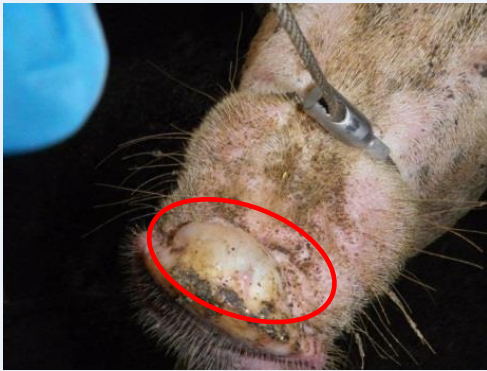


疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、**泡状のよだれ**を流したり、**口、鼻、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

～豚の症状～

写真：宮崎県提供



<口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供



接種3日目



接種4日目

多数の水疱病変

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に**連絡**しましょう。

1頭のみに着目せず、複数の豚で歩き方がおかしい、上記の症状が急速に広がるなど、**群としての異状の有無を確認することが重要**です。

☀ 暑熱対策について ☀

- ・ 遮光ネット や よしず による日よけ
- ・ 屋根への断熱材設置、石灰乳塗布、スプリンクラーの設置
- ・ 換気扇、扇風機による送風、畜体への散水
- ・ 密飼いを避ける
- ・ 清潔で冷たい飲用水、良質で消化率の高い飼料、ビタミン・ミネラルの補給

